

各議員の賛否（議案などで賛否の分かれたもの）

議員名 議案等名	新政とうかい									光風会		公明党		結果			
	飛田 静幸	舛井 文夫	大内 則夫	越智 辰哉	河野 健一	武部 慎一	吉田 充宏	寺門 定範	笹嶋 士郎	三上 修	江田 五六	恵利 いつ	岡崎 悟		植木 伸寿	大名美恵子	村上 孝
請願第5-1号 「最低賃金の大幅引き上げと中小企業支援策の拡充を求める意見書」採択の請願書	×	×	×	議長	×	欠席	×	×	×	×	○	×	×	○	×	○	不採択
発議第1号 「安保関連3文書」の閣議決定の撤回を求める意見書について	×	×	×	議長	×	×	×	×	×	○	○	×	×	○	○	○	否決

○…賛成 ×…反対

※議長は賛否同数の場合のみ採決に参加します。

討論



討論とは…

自分の意見（賛成または反対）を表明し、その意見に反対する議員、賛否の意思を決めていない議員を、自分の意見に賛同させることを目的に行うものです。

請願第5-1号



賛成 大名美恵子議員

請願者の最低生計費試算調査では労働時間月150時間として男性の時給1687円、女性は1674円に。物価水準は茨城と東京他府県も殆ど差がない。中小企業支援と共に最低賃金を全国一律にする必要性は明らか。



反対 公明党
岡崎 悟議員

一律最低賃金の引き上げは必要である。しかし、最低賃金時給1500円の実現には、日本経済の生産性の向上による大幅な成長が必須で、社会全体のバランスを見極め進める必要がある。現在の環境にない。



賛成 阿部功志議員

最低賃金の引き上げに反対する人は雇う側の立場にのみ立ち、雇われる側の立場に立とうとしない。請願は中小企業支援策の拡充もセットで出されているのに、そこを無視している。請願内容を理解しているのだろうか。

発議第1号



賛成 阿部功志議員

戦争は経済と生活への大打撃だ。敵対関係を小さくする外交努力を政府は放棄している。軍事力の肥大化で平和が保てるという発想は安易で思慮が浅い。危険な目に合わない立場の人ほど無責任に威勢のいいことを言う。



反対 新政とうかい
三上 修議員

日本は、隣国のミサイル発射や海洋進出によって、軍事的脅威に晒されている。国連が機能しない現状において、必要最小限度の設備導入は不可避。話し合いを続けつつも、適時課題に折り合いを付けてゆく必要がある。



賛成 村上 孝議員

安全保障のあり方、日本の役割は外交政策とありとあらゆる外交努力を通じて対応すべき。閣議決定のみで改正を図り、特化した軍事予算を国民に押し付けることは断じて許されない。戦争の歴史を繰り返さない。



賛成 光風会
恵利いつ議員

国防は国がやることだが、地方からも声を上げないと戦前と同じになりかねない。抑止力で平和は守れず国のあり方が根本から覆る。多くの戦争は自衛から始まった。日本がやるべきは軍拡ではなく、平和をつくる外交だ。



反対 新政とうかい
吉田充宏議員

我が国は戦後、最も厳しい安全保障環境に直面している。防衛力の増強や同盟国との協力関係強化が必要である。外交と防衛が両輪として機能することが重要だが、外交ありき、防衛ありきの問題提示は、無意味だ。



賛成 大名美恵子議員

反撃能力の保有は相手国がミサイル攻撃等の発射前の段階でも相手国が「攻撃に着手」したと見なして反撃できるものとする。実質的に国際法上も違法な先制攻撃の事態が想定され憲法第9条の下で絶対に許されない。